

学級数	8	児童生徒数	145
校内委員会			
(1)名称 学校業務改善推進委員会			
(2)協議・検討内容 子どもと向き合う時間の確保や勤務時間の適正化のための業務や勤務環境の改善について			
(3)成果と課題 IT化や電子ファイルの共有により、事務の効率化が図れた。しかし、ノー残業デーの完全実施が達成できていない。			
1. 実践校の取組内容(計画書の取組項目を記載)			
学校ルールブックの作成、電子ファイルの共有、校務・業務の効率化やIT化、学校事務の改善、研修・会議等の効率化、学校行事・事業の見直し・廃止、勤務環境の改善			
2. 取組の具体的内容			
学校ルールブックの改訂、提出文書や報告文書の様式・学校行事の写真・行事等の提案文書・児童名簿・資料等のファイルを共有フォルダで管理、出席簿・時数表・勤務簿・動静表・通知簿の電子化、ファイルへの書き込みによるアンケートの回収や意見集約、市教委からの文書を電子媒体で配布、会議での提案事項を文書にして前日までに配布、教材・教具の整理とリストの作成、PTA行事の見直し			
3. 取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・事務のIT化や電子ファイルの共有によって、事務の効率化や時間短縮が図れた。また、紙媒体による保存が減り、整理整頓の手間や紙のコスト削減につながった。 ・文書による提案や提案文書の前日までの配布によって、会議の時間短縮が図れた。 ・ルールブックの作成によって、生活指導の面で職員間の共通理解が図れた。 			
4. 取組の際の工夫点や留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校業務改善推進委員会や職員会議での協議を受け、学校ルールブックを随時改訂していった。 ・事務のIT化・電子化に伴う個人情報の保護については、市の情報セキュリティポリシーの遵守を徹底した。 			
5. 各学校での取組活用のためのアドバイス			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人の意識改革が業務改善の基盤である。 ・IT化や電子化は、セキュリティ管理のもと進めなければならない。 			
6. 取組後の職員の主な意見			
<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌に関する文書や資料、写真を共有フォルダで管理することによって、手軽に加工・修正して使える。 ・事務のIT化や電子ファイルの共有による効率化・会議時間の短縮によって、教材研究にかける時間や子どもと向き合う時間が増えた。 			
7. 次年度の学校業務改善に係る取組について			
<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーの徹底を進める。 ・更新された市の情報システムを校内LANに活用し、グループウェアの充実を図る。 ・指導要録や学校日誌の電子化の取組を進める。 			